

第14回 教育研究評議会議事要旨

日時 平成17年2月23日(水) 13:30~15:25
場所 事務局第1会議室
出席者 21名(欠席者1名)

第13回 教育研究評議会議事要旨について

学長から、議事要旨(案)のとおり確認された旨報告があった。

議 題

1 「学則」及び「授業科目等に関する規則」の改正について

教務部長から、資料1-1及び1-2に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

2 教員の選考について

松本 環境・建設系長及び丸山理事から、資料2に基づき説明があり、審議の結果、教授会(教授)に付議することを了承した。

3 助手の選考について

中村教授(大里 経営情報系長の代理)から、資料3に基づき説明があり、審議の結果、教授会(教授)に付議することを了承した。

4 特任教員(特任教授)の選考について

学長から、資料4に基づき説明があり、審議の結果、次のとおり、教授会(教授)に付議することを了承した。

5 高専との連携教育に係る非常勤講師(客員教授)の選考について

丸山理事から、資料5に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

6 授業料の改定について

学長から、資料6に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

7 財団法人 鉄道総合技術研究所との連携大学院の実施について

丸山理事から、資料7-1及び7-2に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

教授会審議事項の報告

1 平成17年度第1学年(一般選抜・前期日程、私費外国人留学生)入学者選抜試験 合格者の選考について

2 平成17年度第2学年(ツインガ・プログラム)特別選抜入学者選抜試験合格者の選考について

3 平成17年度第1学年(一般選抜・後期日程)入学者選抜試験合格者の選考について

4 平成17年度大学院工学研究科博士後期課程進学者の選考について

- 5 学部課程卒業者及び第3学年進学者の認定について
- 6 大学院工学研究科修了者の認定について
- 7 論文博士の学位授与について
- 8 授業料未納者の除籍の取扱いについて
- 9 単位互換協定に基づく派遣学生の単位認定について

学長から、上記1及び2について3月4日（金）開催の教授会（教授，助教授及び講師）で、また、3から9について3月22日（火）開催の教授会（教授，助教授及び講師）で、それぞれ審議する旨の報告があった。

報 告

1 平成17年度予算額について

学長から、資料8-1及び8-2に基づき、次のとおり報告があった。

①運営費交付金については、効率化係数に基づき減額になるとともに、自然増（定期昇給，昇格など）の経費は、全く盛り込まれていない。

②さらに、授業料の標準額を当初から引き上げたものとして、その分を運営費交付金から減額してきている。

③運営費交付金のうち、特別教育研究経費は用途が特定されているため、人件費として使うことはできない。

④平成16年度と比較して、平成17年度は約1億4,800万円が実質的な減額となり、厳しい状況にある。

⑤従って、平成17年度予算については、前記の減額分のうち、約25%（約4,000万円）を研究経費から、また、約75%（約1億1,000万円）を人件費の抑制，教育研究支援経費及び一般管理費等諸経費の削減により対応することとする。

ただし、学生当教育経費は、授業料を改定したことにより、教育及び学生へのサービスの質の確保に努めなければならないため、平成16年度と同額とする。

⑥今後、予算検討会議での検討を経て、経営協議会で審議する予定としている。

⑦教員に配分している基盤研究経費も削減せざるを得ない。引き続き外部研究費の獲得に努めていただきたい。

⑧事務系職員については、毎年1人ずつ削減していく予定である。

教員についても、見直しをする必要も出てくると考えられるが、教育研究の更なる活性化のためには、博士後期課程の拡充を図るなど工夫をして、現在の水準を維持したい。いずれ、各系と個別に相談させていただきたい。

併せて、事務局長から、事務局職員の削減とともに、教務職員の見直しについても、各系で検討いただくこととなる旨の報告があった。

2 センター長等の選考について

学長から「極限エネルギー密度工学研究センター長」、「eラーニング研究実践センター長」、「音響振動工学センター長」及び「マルチメディアシステムセンター長」並びに「入学者選抜方法研究委員会委員長」及び「廃液等処理委員会委員長」が任期満了となるため、後任者を選考し、3月22日（火）の教授会（教授）で報告する旨の説明があった。

3 過半数代表者の選出について

総務部長から、平成17年度の過半数代表者を選出の上、3月22日（火）の教授会（教授、助教授及び講師）で報告する旨の説明があった。

4 公式ホームページのリニューアル等について

西澤理事から、資料9に基づき、3月中旬完成を目途に作業を進めているが、各系に係る部分について、所要の更新をお願いするとともに、常に最新データを掲載するよう心がけてほしい旨の依頼があった。

5 平成16年度学部卒業式・大学院修了式 並びに 平成17年度入学式の挙行について

総務部長から、資料10に基づき報告があった。

6 独立行政法人 国際協力機構の東ティモール工学部支援プロジェクト 事前評価調査の派遣に係る調査団員の派遣協力依頼について

学長から、本学より2名の「事前評価調査団員」を派遣することとなった旨の報告があった。

7 長岡技術科学大学 ハノイ・オフィスの開設について

8 国際連携教育シンポジウムの開催について

9 本学と東京外国語大学との国際連携教育協定について

石崎副学長から、上記7から9について、資料11-1から11-3に基づき報告があった。

10 マレーシア日本国際工科大学設立準備への協力について

学長及び石崎副学長から、日本政府がマレーシア工科大学の中にセンターを設置して、「マレーシア日本国際工科大学」を3年後に設置することとなり、文部科学省から本学へ協力要請があったので、本学としては、カリキュラムの編成を中心に協力していく予定である旨の説明があった。

11 外部研究資金受入状況について

学長から、2月末の状況について、総務部長より3月4日（金）開催の教授会（教授、助教授及び講師）で報告する旨の説明があった。

12 スペースチャージ制の導入予定について

学長から、施設利用の効率化・活性化を計るために、各系が占有しているスペースの約35%に所定の単価で課金することを、施設環境委員会で決定し、3月4日（金）開催の教授会（教授、助教授及び講師）で報告する旨の説明があった。

13 委員会報告

(1) 教務委員会

- ① 研究室に配属されていない学部学生のアドバイザー教員について
- ② マレーシア政府派遣留学生（学部留学生）の受入れについて
- ③ 日本語研修生の受入れについて
- ④ 平成 17 年度 高大連携事業の実施について
- ⑤ 学術交流協定に基づく学生の受入れについて

丸山理事から、資料 12-1 から 12-5 に基づき報告があった。

また、丸山理事から「研究生」及び「科目等履修生」の志願者があった場合は、3月22日（火）開催の教授会（教授、助教授及び講師）で報告する旨の説明があった。

なお、石崎副学長から「短期交流留学生の受入れ」について、併せて3月22日（火）に報告してほしい旨の依頼があり、これを了承した。

14 その他

- (1) 西澤理事から、緊急時及び重要事項に係る学生への連絡体制を強化・徹底してほしい旨の依頼があった。
- (2) 学長から、本学の東京事務所（仮称）を開設する予定である旨の報告があった。
- (3) 事務局長から、新潟県災害対策本部からの依頼により、本学体育館に保管していた支援物資（水及びマットレス等）を、2日間かけて搬出することとなった旨の報告があった。
- (4) 学長から、若林助教授（過半数代表者）より「予算検討会議に出席させてほしい」旨の依頼を受けたが、職員の過半数代表者としての役割が予算検討会議の趣旨に、必ずしもなじむものではないと判断したので、出席については遠慮してもらいたい旨回答した。ただし、予算については、教育研究評議会でも審議しているので、必要に応じて所属系長等から聴いてほしいこと、更には他の学内委員会に、必要であれば陪席できるように考えたい旨を申し添えた旨の報告があった。
- (5) 学長から、教育研究評議会の構成員のうち定年退職される、八井 浄 教授（極限エネルギー密度工学研究センター長）の紹介があり、引き続き、同教授からあいさつがあった。

以 上